PULSE ENGINE HOURMETER
PET-3200R

取扱説明書

●ご使用前に必ずすべての説明をお読み頂き、正しくお取扱いください。

本書は紛失しないように大切に保管してください。

⚠ 危険

■エンジンを起動したまま本機の取付作業をすると、死傷することがありますので必ず停止した状態で行ってください。
■エンジンやエンジンオイル・冷却水が冷えた状態で行ってください。火傷をすることがあります。

⚠ 注意

■幼児が誤って口に入れぬよう、手の届かないところへ保管してください。
■濡れた手で配線等の作業をしないでください。感電の恐れがあります。
■焼却炉には入れないでください。破裂の恐れがあります。

◎本書および本機使用により生じた損害、逸出利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、予めご了承ください。
◎本書および製品の内容に関しては、改良のため予告無しに変更することがあります。
◎本書の作成には万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤りなど、お気づきの点がありましたら当社までご連絡ください。

●取扱い上の注意

①本機は、アンテナリード線を点火プラグコードに巻き付けて使用してください。
②本機と点火プラグコードの距離が50㎝未満となるように取付けてください。
③温度が60℃を超えない場所を選んで取付けてください。
④誤動作防止のため、雨や水しぶきのかからない場所に取付けてください。
⑤強い衝撃は避けてください。
⑥本機は分解できません。
⑦電池の交換はできません。
⑧誤った使用による事故、分解などによる破損については当社では一切責任を負えませんので、予めご了承願います。
⑨シンナー等の有機溶剤では本機を拭かないでください。
⑩本機はガソリン、オイル等がかからない場所に取付けてください。

●仕様

測定可能エンジン	ガソリンエンジン
測定方式	パルス感知方式
運転累積時間表示 最大9999時間59分	（時間：分） 0000：00 → 9999：59
リセット機能	有り（専用リセットツール使用）
電池寿命	約5年（メーカー出荷時より）
使用温度範囲	−10℃〜+60℃
保存温度範囲	−10℃〜+60℃
防水性	日常生活防水
寸法（L×W×H）	30×30×15mm
本体重量	15ｇ
付属品	アンテナリード線（50㎝）、リセットツール、マジックテープA・B、結束バンド、結束バンドベース、ゴム板、取扱説明書

※ディーゼルエンジンおよびダイレクトイグニションタイプのエンジンにはご使用になれません。

●本機の特長

ガソリンエンジン点火の際に発生する信号を感知してエンジンの稼働時間を累積・記憶するアワーメータです。
アンテナリード線を点火プラグコードに巻きつけるだけで簡単に計測できます。
必要に応じて付属のリセットツールを使用することにより、計測データをリセットできます。

●使用目的

定期点検・整備時期の目安や記憶管理に、また、レンタル・リース製品使用時間やエンジンの耐久時間などの時間管理にご使用いただけます。
本来の使用目的以外には使用しないでください。

●本機取付け方法

■マジックテープ使用の場合
①アンテナリード線の一端を図1のように本機側のみに取付けてください。
②マジックテープA（切り欠き有り）を図2のように本機の裏面に貼り付けてください。なお、貼り付ける際は、本機の裏面の油分を中性洗剤等で落としてください。
※マジックテープAはリセットピンが見えるように貼り付けてください。
③マジックテープBをエンジン、又はエンジン周辺部の平面部に貼り付けてください。なお、貼り付ける際は、貼り付け面の油分を中性洗剤等で落としてください。
※本機の取付け場所は、アンテナリード線の長さに対して、充分に余裕のある位置としてください。
※本機の取付場所は振動が少なく、高温にならない、なるべく水平な位置としてください。本機が脱落する可能性があります。
④マジックテープBに本機のマジックテープAを貼り合わせてください。

■結束バンドを使用する場合（マジックテープ使用）
①アンテナリード線の一端を図1のように本機側のみに取付けてください。
②マジックテープA（切り欠き有り）を図2のように本機の裏面に貼り付けてください。なお、貼り付ける際は、本機の裏面の油分を中性洗剤等で落としてください。
※マジックテープAはリセットピンが見えるように貼り付けてください。
③装着するパイプ等（点火プラグコードやエンジンフレーム）に付属のゴム板を図3のように1〜2周巻き付け、余分は切断してください。
※ゴム板は結束バンドの滑り止めとなりますので、必ず使用してください。
④結束バンドベースに結束バンドを図3のように通し、装着するパイプ等のゴム板の上から結束バンドを締めつけ、固定してください。（固定が確実に行われているか必ず確認してください。また、余ったバンドは切断してください。）
※本機の取り付け場所は、アンテナリード線の長さに対して、充分に余裕のある位置としてください。
※本機の取り付け場所は、振動が少なく、高温にならない、なるべく水平となる位置としてください。本機が脱落する可能性があります。
⑤結束バンドベースとマジックテープBの剥離紙をはがし、張り合わせてください。
⑥マジックテープBに本機のマジックテープAを貼り合わせてください。

■結束バンドを使用する場合（マジックテープを使用しない）
①アンテナリード線の一端を図1のように本機側のみに取り付けてください。
②装着するパイプ等（点火プラグコードやエンジンフレーム）に付属のゴム板を図3のように1〜2周巻きつけ、余分は切断してください。
※ゴム板は結束バンドの滑り止めとなりますので、必ず使用してください。
③結束バンドベースに結束バンドを図3のように通し、装着するパイプ等のゴム板の上から、結束バンドを締めつけ、固定してください（固定が確実に行われているか必ず確認してください。また、余ったバンドは切断してください。）
※本機の取り付け場所は、アンテナリード線の長さに対して、充分に余裕のある位置としてください。
④結束バンドベースの剥離紙をはがし、本体を装着してください。なお、貼り付ける際は、本機の裏面の油分を中性洗剤等で落としてください。
※リセットする際は、本機から結束バンドベースをはがす必要があるため、結束バンド・結束バンドベースを別途お買い求め願います。（一度はがすと結束バンドベースの接着力が著しく弱くなります。

●使用方法

①図1のようにアンテナリード線の一端を点火プラグコードに3回程巻き付け、仮止めしてください。
②エンジンを始動すると液晶表示部のコロン（：）が点滅し、本機が作動中であることを示します。
③エンジンを停止するとコロンの点滅も停止し、本機が休止状態であることをしめします。
④累積時間は、0000：00〜9999：59までカウントして、自動的に0000：00にもどります。
⑤電池残量が少なくなると左端の数字（千の位）が点滅表示となり、約3ヶ月後に機能が停止します。（例：1 234：56）本体の交換をお願いいたします。

●動作確認

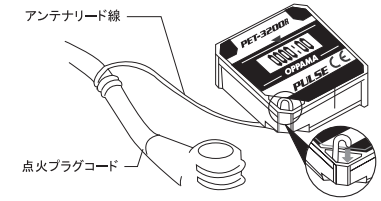
①エンジンを始動し、アイドリング回転（低速）と高速回転にて液晶表示部のコロン（：）が点滅することを確認してください。コロンが点滅しない場合は、点火プラグコードアンテナリード線を3回より更に巻きつけてください。（信号の感知強度が増します）
②正常な動作が確認できましたら、点火プラグコードに巻きつけたアンテナリード線の上から絶縁テープなどで固定してください。
③初期確認として、60分程使用後にメーター表示の時間と実動時間を比較して確認してください。

●リセット方法

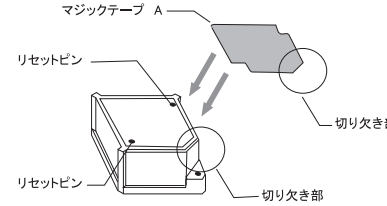
本体裏のリセットピンにリセットツールを図4のように2箇所同時に接触させてください。0000：00表示となります。
※リセットする前にはデータを記録してください。

●取付方法

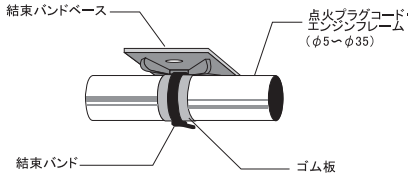
図−1



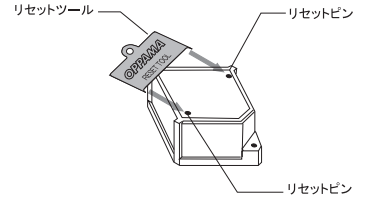
図−2



図−3



図−4



OPPAMA

追浜工業株式会社
〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町14-2
Tel:046-866-2139 Fax:046-866-3090
http://www.oppama.co.jp/
E-mail:info@oppama.co.jp